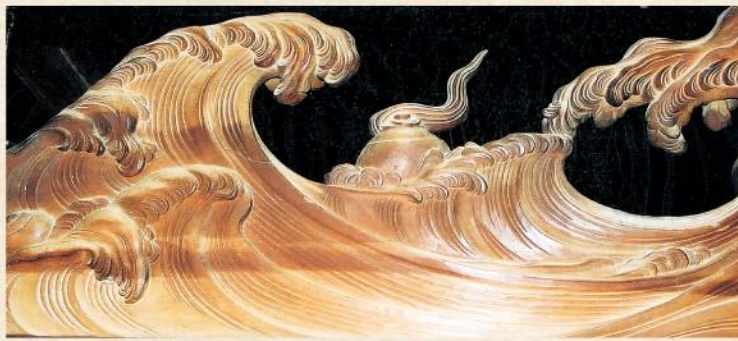


の伊八めし」を食べに行こう!!

行元寺



「波と宝珠」

宝珠-仏教では、この玉によってすべての願いが叶えられると説いています。



「波に朝日と鶴」

当時の太東崎周辺には多くの鶴が飛来していたといわれています。



「松竹梅」

※この裏面に「當山三十七世現住榮長代 彫工房州長狭群打墨産武志伊八良信由作 弟子久八 于時文化 6 己巳年 (1809 年) 四月吉祥日」の銘があります。

飯繩寺

「牛若丸と大天狗」(写真右)縦1m、横4mでケヤキの1枚板で作られています。飯繩信仰では天狗を祭っていますが、この欄間は鞍馬山で牛若丸(後の源義経)が大天狗より巻物を伝授される図です。また、同寺には義経が訪れたという伝承も残されています。彫刻は初代伊八の最高傑作の一つです。また両脇には「波と飛龍」(写真下)の彫刻もあります。



「波と飛龍(左)」



「波と飛龍(右)」



「牛若丸と大天狗」

長福寺



「波雲に龍」 いすみ市指定文化財

裏に「彫工 安房國長狭郡 下打墨村住人 武志氏 伊八良信 由作 弟子 高梨氏 伊曾八信 房 寛政元酉初冬」の銘があり 1789 年の作であることがわかります。市内に残る伊八の作では一番古いものです。



「波に麒麟(左)」



「波に麒麟(右)」

「波雲の間を駆ける麒麟」

麒麟…中国神話の伝説上の動物で、体は鹿に似て大きく背丈は5mあり、顔は龍に似て、牛の尾と馬の蹄をもち、雄は頭に角をもつとも言われています。背毛は五色に彩られ、毛は黄色いとされています。